

三笠霊苑第一一八回春季彼岸大法要御案内

春季彼岸大法要のご案内

早春の候、皆様におかれましては

益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本年度も恒例の『春季彼岸大法要』を執り行わせていただきます。これもひとえに皆様のご協力・ご理解の賜物と感謝申し上げます。

徐々に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。

春の彼岸（三月）に牡丹餅、秋の彼岸（九月）におはぎを先祖にお供えする習慣は、日本の伝統的な先祖供養です。

小豆の赤い色は「邪気を払う（魔除け）」効果があると思われられており、ご先祖様への感謝と共に、無病息災を願う意味が込められています。

昔は貴重な砂糖が使われていたため、ご先祖様への最高の敬意を表すための特別な贈り物でした。

「柵から牡丹餅（たなからぼたもち）」という言葉は、偶然の幸運を表すことわざですが、先祖供養においては「柵の牡丹餅も取らねば食えぬ（自ら動かなければ幸運はつかめない）」という戒めも重要です。

心を込めてお供え物（牡丹餅）を準備し、墓参りや仏壇参りを行う（Ⅱ供養の行為）ことによつて、ご先祖様からの加護や心の平安（Ⅱ本当の幸運）が得られると考えられています。どうぞ皆様お揃いでご参拝ください。



大法要式次第

日時

令和八年三月二十日（金・祝日）
春分の日（彼岸中日）

受付

午前九時三十分より午後二時迄

第一回法要

午前十時より（本堂にて）
各宗派御寺院様による

（1）各家御先祖

戦没者

交通事故犠牲者

阪神大震災犠牲者

東日本大震災犠牲者

合同諸霊大供養

（2）各宗派僧侶による経木大供養

（3）式終了後直ちに各家墓前にて読経御回向

第二回法要 午後二時より（本堂にて）

※大法要当日は霊苑入り口の受付テントで各御宗派の色別の旗をご用意致しております。その旗を各家墓前に差し置いて置いて頂ければ、読経御回向をさせて頂いております。



お彼岸

三笠霊苑

住職 三谷 真 漣



古代に大陸から伝えられた暦があります。

大陸と日本では季節の移り変わりに微妙にズレがあり日本独自の暦が考えられます。

二十四節気（にじゅうしせつき）により『春夏秋冬』の四つの季節に分け、さらにそれぞれを六つに分けて、農作業において季節をより正確に知る必要があったため季節の移り変わりを把握するために細分化されたようです。

その中でも重要なのが、春と秋のお彼岸の中日となる「春分の日・秋分の日」は、太陽が真東から昇り、真西に沈むため、その意味として、仏教では西方浄土にあるあの世とこの世が最も近くなるとされて先祖の魂に最も近づける日として大切にされてきました。

日本でお彼岸が今日のように広がったのには、その意味が仏教が広がる以前、太陽信仰の名残とも言われています。『彼岸』は古神道の『日』を拝む『日願』であるとされています。

たとえば誰もがご存知の伊勢神宮の場合、春分と秋分の日には太陽が真東から昇り、神宮の正面に昇るように見えます。古代の人々によって神聖視されてきました。

三笠霊苑の近くにある「夕日地藏」は西から東に向いて祀られています。

夕方に夕日地藏さんをお参り時に、お地藏さんの背が夕日に照らされて浄土から表れたように見えます。黄昏時にあかね色に染まった夕日は西方浄土への導きと思い重ねて人々が祈りをささげたようです。

『感謝』という言葉は『報恩感謝』の略とされています。

仏教の基本の教えは「四恩」（四つの恩）、四つの感謝の気持ちから始まります。

一、父母の恩

二、衆生の恩

三、国王の恩

四、三宝（仏・法・僧）の恩

衆生とは、友であり、親戚であり、同僚です。

国主とは、国家であり、会社への感謝。

（社長や仕事上の上司も国主との解釈ができます）

三宝とは、正しい宗教、つまり仏教の教えに感謝。

要は、仏道修行を志す者は、『報恩感謝』の人生を歩むことを最良とするのです。

人の人生はどれほどの人たちに教えられ、支えられてきたことでしょうか。

感謝の数を挙げれば、もう数え切れないと思います。

彼岸の法要は、彼岸に極楽浄土へ向かわれたご先祖様やお世話になった方々へ思いをさせて受けた恩に対して感謝、そして此岸（現世にいる世界）から私たちが浄土へ生まれ変わることを願う日かなと思われまふ。

合掌

ご挨拶

皆さまいかがお過ごしでしょうか？

今年は冬が月単位で遅く始まり、早く終わりを迎えて、あゝ異常気象だ、温暖化だ。と世相が感じています。もうような温かい時節となりました。

勿論、温かいとは言えやはり冬のシーズンです。皆さまのお参りも鈍り、今度の供養は温かくなつてからしましょう。と会員さんと打ち合わせする季節だなあ。と我々霊苑職員が感じる時節でもあります。

そんな折当苑でも、いわゆる墓仕舞いや永代供養申請のご相談を、お電話にてお伺いする機会が多いシーズンでもあるのです。

そんな中、お仏壇も、お位牌は、。と言うご相談も多く、こちらから御寺院様を手配しその御自宅までお仏壇を引き上げに行く事が重なっております。

そこで霊苑本堂にて、御位牌棚をご用意する運びとなりました。ここならば毎日のように御祈祷させて戴いておる場所ですし、なにより我々が年代物の立派なお位牌をお焚き上げしてしまわなくても良い場所を持つ事が出来ました。

いきなり本堂で見かけるとビックリしてしまうかも知れません。当苑ご本尊様の向かって右に新しい木目で完成致しました。

皆さまに、いつも言う事は変わりません。お元氣ですか？お変わり有りませんか？また元氣なお顔を見せて下さいね。

でも何かお困りならどうぞご相談を。

皆さまの変わらない中に、日頃の全てが込められた様な皆様のお姿にお手伝いをと、また行事の準備に掛かっております。

来る春の陽光の中、おいで頂く事をお待ちしております。

苑主 西本隆一 拝

合掌

永代供養位牌棚志納料

一時預かり（1年間）

1柱 10,000 円

10 年永代供養

1柱 100,000 円

1柱追加ごと 30,000 円

30 年永代供養

1柱 200,000 円

1柱追加ごと 50,000 円

備考

- ・一時預かりの場合、お性根抜き・お焚き上げ料各10,000円別途必要
 - ・10年永代、30年永代をお申込みされた方は、期間終了後にお性根抜きを行いお焚き上げを行います。
- ※期間延長ご希望の方はお申し出ください。

三笠霊苑 永代供養墓ご案内

暑さ寒さも彼岸まで。寒い季節も一段落です。

お彼岸には、家族そろってお墓にお参りされる習慣があります。お墓は、先祖様が眠られ魂が休まれている場所であり、自分たちの思いや日々の出来事を報告する場でもあります。

お彼岸には、三笠霊苑にもたくさんの皆様が参りにお越し頂きます。

近頃、お参りのさいにお墓の祭祀の御相談を頂くなかで、子供がいないので将来お墓のお祀りを続けられるか心配だ。

子供が女性で、結婚して実家のお墓のお祀りを続ける事ができるだろうか。

現在の住まいが、遠方で現在のお墓の祭祀をいつまで続けることができるだろうか、など今後どのように御先祖祭祀を続けて行けばよいのかと、御相談頂きます。

そのようなとき、永代供養墓（永代供養契約墓・樹木葬墓・合祀墓）を御提案させて頂いております。

三笠霊苑永代供養墓

将来お墓の祭祀を継承する人がおられない場合、三笠霊苑永代供養墓の御申し込み頂くことをお勧め致します。

永代供養の内容

①永代供養契約墓

現在お祀り頂いておりますお墓を何時迄維持するか期間をお決め頂き、永代供養申込をして頂きます。

その期間が満了した時点で、お祀りされておられるお墓をお墓仕舞して、埋葬されておられます御遺骨を、三笠霊苑合祀墓にお納めし、以降三笠霊苑が皆様のお祀りをしてまいります。永代供養墓お申込み時に永代供養に関わります費用を前納頂く必要があります。

現在お祀り頂いておりますお墓を、永代供養契約申し込み時に前納頂く費用

1、お申込み時にお決め頂いた期間が満了するまでの管理費

2、満了時にお墓仕舞する費用

3、三笠霊苑合祀墓に御納骨（永代供養）する費用

4、お墓の御閉眼、御納骨各法要の費用

②樹木葬墓

霊苑20街区（3街区南側）に在り霊苑開苑以前より自生しています常緑樹を望むお墓で、24cm×24cmの区画に、御家族三霊様まで埋葬（ご家族一緒）埋葬祭祀頂けます。

使用期間はお申込み日より五〇年間とさせて頂きます。

但し、生前申し込み頂きました場合はお申込み頂いた方が御納骨されてから五〇年間とさせて頂きます。

五〇年間経過した時点で御遺骨は三笠霊苑合祀墓に祭祀されます。

お申込み頂きます際の費用

樹木葬墓使用料 300,000（一霊）

※一霊増すごとに100,000お納め下さい。
石板刻字料（霊名を刻字）50,000（一霊）

※一霊増すごとに50,000お納め下さい。

③三笠霊苑合祀墓

霊苑の真ん中一〇街区（芝生の墓地）にあり、南に東大寺大仏殿、興福寺の五重塔を望み、西には生駒山、北には般若寺の石塔が見える奈良盆地を一望できる場所にあります。

お申込み頂きます際の費用

永代供養料 30,000（一霊）

永代供養墓使用料 100,000（一霊）

刻字料（銘板） 50,000（一霊）

三笠霊苑では、霊苑が施主様に代わりまして永代に渡り御供養をさせて頂きます。宗旨宗派は不問です。緑豊で静かに時が流れる悠久の素晴らしい自然環境の三笠霊苑で皆様の永代に渡るお祀りをして頂くことを願っています。

各種回向の御案内

経木回向 一霊につき 500円

本堂にて霊苑住職が経木を読み上げ、ご先祖様を供養致します。

経木回向をお申込みの御方は、同封の経木申込み用紙にご記入頂き、ご持参頂くか、事前に郵送かFAXでお申込み下さい。尚、期間中は受付にも用紙をご用意しておりますので、ご来苑時にお申込み頂いても構いません。

灯明回向 一件につき 1000円

ご寄進頂いております参道灯籠にロウソクで灯りを点し、ご先祖様を供養致します。ご希望の御方は受付にてお申込み下さい。

墓前回向 一件につき 3000円

各ご尊家の墓前にて霊苑住職が読経し、ご先祖様を供養致します。ご希望の御方は受付にてお申込み下さい。

※この御案内は、墓地ご契約本人様にご送付申し上げております。大法要の日取り、霊苑送迎バスの次第を、ご兄弟・ご親戚或いは、ご縁者様へお知らせ頂ければ幸いです。

送迎バスについて (無料)

送迎バス運行日 (奈良交通バス運行)

三月二十日 (金・祝日・春分の日)

(朝九時～夕三時迄・霊苑発最終四時半)

毎時

J R 奈良駅前 〇分、二〇分、四〇分頃発
近鉄奈良駅前 五分、二五分、四五分頃発
霊苑 〇分、二〇分、四〇分頃発

※混雑時の遅延はご容赦下さい。

のりば・おりば、は案内地図をご覧ください。

送迎バス運行時刻表



	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
近鉄駅前発	05分 25分 45分	05分 25分 45分	05分 25分 45分	05分 25分 45分	05分 25分 45分	05分 25分 45分	05分	

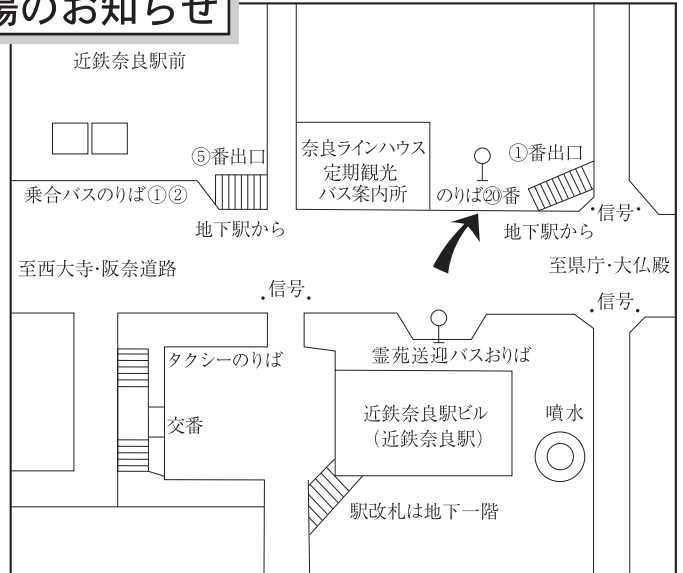
	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
J R 駅前発	0分 20分 40分	0分 20分 40分	0分 20分 40分	0分 20分 40分	0分 20分 40分	0分 20分 40分	0分	

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
三笠霊苑発		0分 20分 40分	0分 20分 40分	0分 20分 40分	0分 20分 40分	0分 20分 40分	0分 20分 40分	05分 30分

送迎バス乗場のお知らせ



J R 奈良駅西口より発車
※乗り場をご確認下さい。



近鉄奈良駅①⑤号地下出口から上って、
奈良交通バスののりば②③ (リムジンバス 乗合バス乗場)

無料苑内車のご案内

苑内車運行日 (近鉄タクシー運行)

三月二十日・二十一日・二十二日

の三日間 (午前九時より午後四時まで)

参道燈籠献灯のご案内

献灯は、先祖及び有無両縁一切に対して、生者が真心を込めてその心を灯に変えて照らし清め供養するものであります。

この善の働きは一家に心の安らぎと繁栄をもたらす、子々孫々末代までの『陰徳積』になると信じます。ご先祖様が眠る三笠霊苑参道の両側に、この大なる功德を意味する燈籠の灯を、永代まで灯し続けて参ります。

広く皆様にご賛同賜りますようお願いしております。

献灯 永代供養志納料 六十万円

三笠霊苑

国際教化教会

〒630-8101
奈良市川上町六〇一番地
電話 (074) 211-2911
FAX (074) 211-7771
<https://www.mikasareien.jp>